



初等部だより 1月号

鎌倉女子大学初等部

令和6年1月10日

第11号

穏やかな一年となりますように

部長 勝木 茂

一年の始まりの日に起きた令和6年能登半島地震におきましては、今なお厳しい状況が続いております。犠牲となられた方々には、心よりお悔やみ申しあげると共に、現在も避難所等での生活を余儀なくされている方々には、心よりお見舞い申し上げます。わたしたち人間は、まさに自然の大いなる力を実感し、自然と共に生きていかなければならないことを、あらためて確認させられました。自然災害に対する備えについても今一度しっかりと確認していこうと思っております。

本日より3学期が始まりました。子どもたちをはじめ、保護者の皆様にとって、また、全ての人々にとって健康で安全な穏やかな一年となりますよう心からお祈り申し上げます。



昨年は、学校行事をはじめとして、様々な教育活動を少しずつコロナ禍前の姿に戻していくことを考えながらの一年でした。一年間を経て分かってきたことは、教育課程（カリキュラム）全てをコロナ禍前に戻すことがベストではなく、コロナ禍の中から生まれてきた様々な授業方法等の改善を積極的に取り入れながら新しい教育課程を創造していくことこそ重要であるということでした。

今年は、これまでも増して、職員一同アイデアを出し合い、初等部の子どもたちのためによりよい教育実践が出来るような一年に

したいと考えています。

さて、初等部の5年生も使っている国語の教科書に「声に出して楽しもう」という単元があります。

子曰はく、「己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ」と。

孔子は言った。「自分が人からされたくないと思うことを、他人に対してしてはならない。」と。

子曰はく、「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。」と。

孔子は言った。「人はだれでも過ちがあるものだが、過ちをおかしてそれを改めないのが、本当の過ちというものだ。」と。

※小学校5年生 現 国語科教科書（光村図書）より引用

「論語」には、現代社会やわたしたちの日常生活においても大切にしたい言葉がたくさん書かれています。

時代が変わっても不易の部分がたくさんあることをあらためて感じます。時間がある時に、家族で、声に出して楽しみながら読んでみるのも良いかも知れません。